

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	施設評価
環境・体制整備	① 利用者定員が指導訓練室スペースとの関係は適切であるか	7	1		運動を含む各種療育を行うために十分な広さが確保されています。(150.7㎡)
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1		公認心理士、臨床心理士、理学療法士が配置されており、児童指導員の加配基準を満たしています。
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2		全面施設内バリアフリー対応。利用者が使用しやすいように、環境調整を行っています。
業務改善	④ 業務改善のためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	7	1		半期ごとに職員が相互に目標設定と振り返りを行っています。目標設定に関しては、全職員が周知できるように心掛けています。
	⑤ 保護者等向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		保護者のアンケートを元に話し合いを行い、業務内容の改善につなげています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所内の会報やホームページに等で公開しているか	8			施設内の壁面に掲示し、ホームページに公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3		必要に応じて行っていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために研修の場を確保しているか	7	1		日頃より小さなことでもミーティングを行い、資質が向上できるように努めています。外部研修も活用しています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		1	保護者によるフェイスシート、アセスメントシート情報に加え、実際に子どもの行動観察した上で計画書の課題を設定しています。計画書を更新する際には、専門職(臨床心理士、理学療法士)を中心に職員全体で児童カンファをひらき、課題を分析して作成しています。
	⑩ 子どもの適応能力の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2		独自のアセスメントツールだけではなく、診断書、心理検査結果、家庭、学校、事業所での様子、服薬の変化等を観察しながらエビデンスに基づいたアセスメントの実施を心掛けています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		毎月の会議の場にて、各療育リーダーが療育プログラムを立案して話し合っています。児童の様子や改善点を挙げて共有しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7	1		月ごとに療育予定表を作成し、毎月違う内容で行うことで、プログラムが固定化しないようにしています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		土曜や長期休暇には外出の機会を設けるなど、時間が長い日と短い日の支援に変化を持たせています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		小→中→高とライフサイクルに応じた活動の提供に努めています。基本的には集団での療育内容に合わせていますが、個人の必要性に応じて個別にも対応しています。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		保護者からの情報やニーズをもとに、職員間で児童の特性にふさわしい支援内容を検討及び周知しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行う、気づいた点等を共有しているか	5	3		療育後のカンファレンスを行うことで支援の振り返りと改善に努めています。当日行えない場合は、翌日等に話し合いを行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		毎日の療育内容、療育記録、個人記録などの記録を行い、より良い支援を検討していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		定期的に児童個別カンファレンスを行い、少なくとも半年毎にモニタリングと計画の見直しを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7	1		子どもたちの特性や年齢を考慮しながら、様々な活動を組み合わせ合わせた支援を実施しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児童相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	7	1		参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1		学校へ事前の予定を聞き取り、時間調整を行い、朝の朝礼時や送迎時に情報共有をしています。不登校の子どもについて、学校と情報を共有しながら支援を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5	1	現在、医療的ケアを必要とする子どもの利用がありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4		保護者からの情報を基に共有させていただき、必要に応じた連携と相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	1	現在、対象者がおりません。今後、障害者福祉サービスへ移行する児童を想定して、情報を共有する体制を調整していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		発達障害者支援センター等の研修に参加し、研修内容を全体に周知しています。社会と交流できるように外出イベントも工夫していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	2	現在、交流は行えていません。イベントや外出を通して社会と交流できるように努めていきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	3	今後、利用児童の自立支援に向けて積極的な参加を行っています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2		連絡帳でのやり取りや送迎時の会話にて情報理解に努めています。保護者からのニーズを伺った上で、事業所としての支援目標を伝えていくことで、共通理解を促しています。

保護者への説明責任	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4	3	1	保護者との面談による聞き取りを行い、構造化支援方法の共有に努めています。ペアレントトレーニングは行えていませんが、市の勉強会のお知らせ等を配布しています。
	③0	運営規定、支援内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	6	2		契約時に説明しています。不明な点はその都度お伝えしています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		連絡帳や電話、来所にて相談を受けた場合は、誠心誠意の対応に努めています。必要に応じて職員間で話し合いにより、より良い支援が出来ように考えています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	3	今後、ニーズに応じて行っていきます。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応して発信しているか	7	1		苦情内容の報告(周知)指導・対応対策を協議しており、報連相による情報を共有し、改善案を話し合い対応に努めています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	2	毎月療育予定表を出しています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	7	1		配布ミス等を防ぐ為にダブルチェックを行い十分に注意して取り扱っています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		保護者と子どもの双方に理解が出来るように視覚情報の提示等、今後も情報共有に努め、共通理解を深めていきます。
非常時等の対応	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	3	3	2	子どもの様子を見ながら、今後検討していきます。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		義務化に伴い、マニュアルを設置し、研修を行っています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		定期的にビル全体での避難訓練を実施していますが、利用日の都合で参加できていない子どもがいました。今後は、避難訓練を各曜日で行うことで、全員が参加できるように心掛けます。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			県の虐待防止の研修に参加しており、研修内容は全体に共有しています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		タイムアウトが必要と判断される条件を保護者に事前にお伝えしています。一時的に興奮状態にあり行動の激しい児童については、保護者に対応説明と同意を得た上で、タイムアウトやクールダウンを行っています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか	5	3		アレルギー対応が必要な児童への確認を行い、服薬等お預かりしており、それに則した対応を行っています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		事例が発生した際は、作成し周知しています。起こりうる危険については、対策・対応を職員間で話し合う機会を設けています。